

幼児造形におけるずれの修正過程としての歴史的変遷

～明治期から平成期まで～

(資料)

<資料の見方>

【実践紹介の場合】

①実践の内容と種類

実践がどういった内容、形で行われていたか。

②材料

実践で用いられた材料。

③導入（動機づけ）の方法

実践がどのように始められたのかがわかる部分を引用。

④活動内容の提示

活動の指示にあたる部分を引用。

⑤子どもの反応

子どもと保育者の間にずれは生じていないか、保育者の指示に対する子どもの反応などに着目し引用。

*複数の要素が一文章となっている場合は下記のように表記する。

(例)

③導入方法 _____③

④活動内容の提示 _____④

⑤子どもの反応⑤

「どんな材料があるか子どもたちに見せる。それから、翌日に素材を分類しておく。子どもたちはこれに気づき、③「みんなが持ってきたもの、たくさんあるけど、これで何か作ってみない？」と問いかける。④すると、「つくる」「つくりたい」⑤と活動が始まった。」

【論考の場合】

①<記事の内容および引用>

記事の内容を要約、必要に応じて引用。

②<動機づけの捉え方>

動機づけについて記述されている部分や、動機づけの言葉が用いられていない場合にも動機づけの考え方が伺える箇所を取り上げ、動機づけの捉え方を考察する。